

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年6月28日

【評価実施概要】

事業所番号	0176400323		
法人名	株式会社 萌福祉サービス		
事業所名	グループホーム はぼ～れ		
所在地	北海道苫前郡羽幌町栄町111番地 (電話) 0164-62-5189		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年6月26日	評価確定日	平成19年7月9日

【情報提供票より】(平成19年4月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年10月8日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤	12人, 非常勤 1人, 常勤換算 13人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋	造り
	2階建ての	～ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	6,000 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	210 円	昼食	263 円
	夕食	346 円	おやつ	105 円
	または1日当たり		924 円	

(4) 利用者の概要(4月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名	
要介護1	6 名	要介護2	5 名			
要介護3	4 名	要介護4	3 名			
要介護5			要支援2			
年齢	平均	82.1 歳	最低	72 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	北海道立羽幌病院・加藤病院・マルト歯科クリニック
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

道立羽幌病院が隣接して、緊急体制が整い利用者・家族への医療を活用した支援がされている。また、運営推進会議や行政で毎月実施されるカンファレンスなどを通じて行政とともにケアサービスの質の向上に取り組んで、運営推進会議も評価日現在1回実施され、地域密着型サービスについて意見交換されている。共用空間は、ゆったりと広く清潔感が漂い利用者の墨絵などが飾られていると共に和室も用意されて家族の宿泊にも利用されている。居室には、使い慣れた馴染みの家具や仏壇、ソファが持込まれ安心して過ごせたり、趣味を活かせる場となっている。中庭にはウッドデッキも配置され、焼肉や日光浴を楽しめたりできるスペースが用意されている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、グループホームの表札を掲げる指摘であったが、行政や包括支援センターとの連携、地域への「家萌利新聞」の配布や家族への「おたより」の発行で認知症の啓発と広報に取り組んでいる。また、敷地の入口にはホームの看板が掲示されている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価の取り組みは、職員の研修の機会として捉えられ「新たな気づき」としてケアサービスの質の向上に利用されています。また、運営者、管理者、職員は評価の意義を理解して、運営向上委員会を通じて内部監査を実施して是正改善の処置が行われています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、評価日現在1回実施されています。主な主題については運営推進会議の目的(地域密着型サービスについて)事業所の利用状況と活動状況について 次回開催の運営推進会議の要望や取り組みについて以上の主要な項目について話し合わせ議事録として記録されています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 「おたより」を毎月発行して、利用者の日常の暮らしぶりや様子、ホーム行事参加の様子など近況報告を行い家族との関係を大事にして、意見や不安などが言いやすい雰囲気づくりをしています。また、それらの意見を運営に反映させる仕組みも整い活かされている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 夏祭りや露店の出展や運営推進会議を活かして行政・家族との連携、散歩や買い物などを通じて地域の人達との交流と連携が行われている。また、実習生の受け入れや併設されているデイサービスに訪れる地域の方々との交流など日常生活を通じて地域との連携が行われ認知症に対する理解や広報に取り組んでいる。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	経営理念をもとに、介助理念・事業所の年間目標を明確にして、利用者がその人らしく暮らし続けていくことを支えるサービスを職員間で共有されるように取り組まれている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営理念、介助理念、年間目標を達成するために朝礼などで唱和してその達成について職員間で共有されている。また、5分間ミーティングを実施して日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会と盆踊りを共催したり地域・町内で買い物するなど地元の人々との交流に努めている。また、認知症に対する理解や広報の為に併設されたデイサービスや運営推進会議で地域に開かれた取り組みがされている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解しており、それらを日々の業務の中で、活かす取り組みがされている。また、自己評価や前回の外部評価結果についても公表して、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在1回開催されている。メンバーは家族、行政、地域包括支援センター、管理者・職員で構成されサービス向上に活かす取り組みがされている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>行政の運営推進会議への参加、日々の行政との相談や連携について日々取り組んでいる。また、行政の理解も深く共にケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<p>4. 理念を実践するための体制</p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「家萌利新聞」やグループホームの「おたより」を毎月発行して、利用者の日常の暮らしぶりや健康状態などそれぞれの家族に報告されている。また、状態変化については都度電話連絡などで詳細に報告している。</p>		<p>「おたより」で個々の家族に暮らしぶりなど報告されている。今後はさらに、家族にも認知症に対する理解や啓発に取り組んでいく計画がある。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取り組んだり、苦情相談窓口を明確にして気軽に意見や苦情・相談ができる環境整備に心掛けそれらを運営に反映させている。また、自己評価・外部評価の結果を運営推進会議に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>管理者は職員の移動や離職などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		<p>グループホームの「おたより」で職員の紹介などをしていく取り組みがある。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修の年間計画を立案して継続的に外部研修参加に取り組まれている。また、申送りなどで5分間ミーティングが実施され職場内研修やOJTで職員を育てる取り組みがされている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域に同業者はいないが、行政や社会福祉協議会との交流が行われヘルパー実習の受入れなど開かれたグループホームである。また、併設されているデイサービスで利用者同士の交流に取り組まれている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前には、併設されたデイサービスでの交流や見学などで不安を解消する取り組みや、納得したサービスが利用できるように相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員も利用者と一緒に食事の準備をしたり、楽しんで食事しながら本人の気持ちになった支えあう取り組みをしている。また、習字や墨絵、将棋など趣味への支援やレクリエーションのゲームなど身体機能の維持・向上に配慮しながら喜怒哀楽を共にしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1.一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>アセスメントに基づいて買い物で金銭を使う場面を見出したり、バラ園の見学やりんご狩り、きゅうりなどの野菜作り、中庭での焼肉などで気分転換したり墨絵、ゲームなどの趣味への支援や外食など本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。</p>		
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、介護支援専門員の適切な管理のもとに作成されており、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画となっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、3ヶ月に一度計画的に見直しが行われています。また、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
<p>3.多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況に応じて、道立羽幌病院への通院や要望のある場合には外食や買い物、入浴など柔軟にその時々々の要望にも支援されています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、医療機関と連携して家族とも相談しながら慎重に検討対応するよう職員間で共有される取り組みがされている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した配慮がされた取り組みが行われ、利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重して声かけなど支援するよう取り組まれています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	アセスメントに基づいて、利用者一人ひとりの生活暦が把握され職員間で共有されている。また、買い物や外食、畑作業での野菜作り、食事の準備・後片付けなど本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が本人の希望や力量に応じて一緒になって楽しんで食事の準備をしている。また、職員も利用者と一緒に楽しんで食事をしている。和やかな雰囲気を醸し出している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決めていないが週3回を目安に利用者の希望に応じて対応している。また、デイサービスの大浴場も希望によって利用可能でゆっくりとくつろいで入浴が楽しめるように支援されている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの過去の大事な出来事や生活歴が把握され、食事の準備・後片付け、トマトやきゅうりなどの野菜の栽培、寿司などの外食や買い物などで気分転換などの支援が行われている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	スーパーでの金銭を使う買い物やりんご狩り、さくらんぼ狩り、フェリーターミナルでの外食、バラ園見学など年間計画を立てたり、その時々に応じて外出ができるように支援されている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は、チャイム・センサーの設置などで鍵をかけないケアに取り組んでいる。また、利用者が外出する時はいつでも対応でき安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>緊急時に全ての職員が速やかに対応ができるように利用者と共に実技を伴う火災避難訓練や救急救命の訓練が実施されています。</p>		<p>今後は、近隣の住民も参加した火災避難訓練を実施して日頃より協力が得られる働きかけを行う計画がされています。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>具体的な水分・食事摂取量が記録され対応されている。また、栄養バランスや摂取カロリーについてもおおよそ把握され、栄養士や医師の指導・アドバイスも受けて支援されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間には、利用者が集い椅子やソファ、テーブルが配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保され自由に過ごせる場となっている。また、気になる臭いはなく音の大きさ、光の強さについても配慮されている。中庭には、広いウッドデッキで焼肉やおにぎりなど食せたり季節感を味わえるように配慮された工夫がされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は、習字などの趣味を楽しめたり、仏壇や使い慣れた家具などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっていて家族の写真が飾られ一人ひとりの思いが伝わる空間作りとなっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。